

## 1.はじめにお読みください

天井用隠ぺい配管挿入キットは、中居室に取り付けるエアコンの冷媒配管を屋外に取り出すためのシステムです。本書では、天井用隠ぺい配管挿入キットを利用した冷媒配管の挿入方法について記載いたします。

■表示内容を無視して誤った使い方をした場合に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分しています。

⚠ 注意	下記が守られなかった場合、使用者が傷害を負う可能性があります。
⚠ 通告	下記が守られなかった場合、物的損害を負う可能性があります。

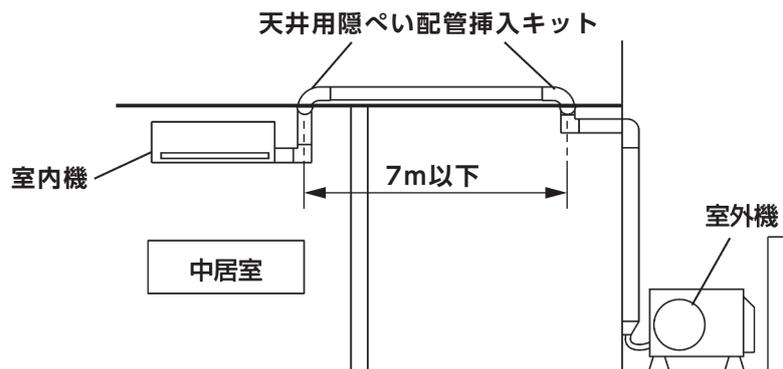
■お使いになる人や他の人へ危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

⚠ 注意	● 作業時は必ず作業用手袋・ヘルメットなどを着用してください。
⚠ 通告	● 壁・床・天井をキズつけないよう、十分な養生をしてください。

**お願い** ※下記が守られなかった場合、製品の想定する機能・性能が発揮されない可能性があります。

- 冷媒配管の挿入は呼び線を用いた2人作業を想定しております。呼び線をご準備のうえ、作業は必ず2人で行ってください。
- 冷媒管に曲げ癖がある場合は、冷媒管挿入がかたくなることがあります。冷媒管挿入がかたい場合は無理をせず、曲げ癖のない冷媒管を使用して挿入してください。
- 冷媒配管は下記サイズに適應しています。
  - $\phi 6.35$ (保温材厚 8mm)  $\times$   $\phi 9.52$ (保温材厚 8mm)
  - $\phi 6.35$ (保温材厚 10mm)  $\times$   $\phi 9.52$ (保温材厚 10mm)
  - $\phi 6.35$ (保温材厚 8mm)  $\times$   $\phi 12.70$ (保温材厚 10mm)
- 多機能エアコン(加湿機能・換気機能・自動フィルター掃除機能など)には対応していません。
- ユニット間配線用ケーブルは冷媒管にテープなどで固定し、冷媒管と一緒に挿入してください。
- ドレン配管は別ルートで施工してください。

## ■施工完成図(概略)



## 2.冷媒管挿入作業手順

## 1.室内の養生

室内機側、室外機側の両方の部屋にキズなどがつかないように十分に養生してください。とくに取り出し口の付近は入念に養生してください。

挿入作業動画は  
こちらから  
ご覧いただけます。



## 2.冷媒管の設置経路の決定

冷媒管の設置経路をあらかじめ確認してください。配管化粧カバーを用いる場合は、配管経路に化粧カバーのベースを取り付けてください。

## ■化粧カバー

室内側:スリムダクトMD

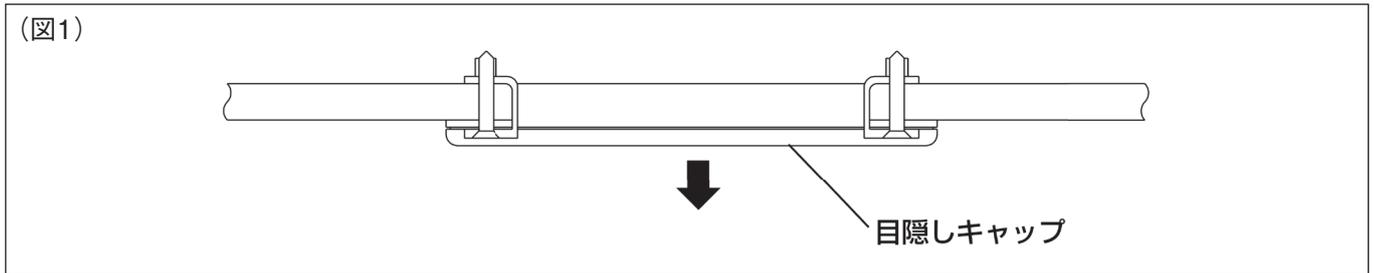
※取り出し口の外径は $\phi 135$ mmです。MWM-75-L-Wを使用してください。

室外側:スリムダクトSD、LD

### 3.目隠しキャップの取り外し

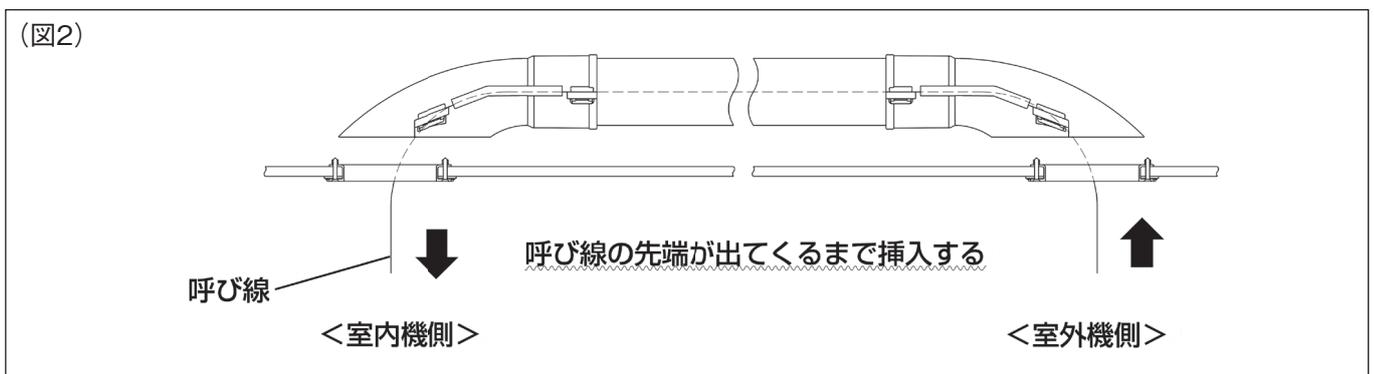
天井、または壁面に取り付けられている配管穴を隠すために目隠しキャップが取り付けられています。目隠しキャップを取り外してください。(図1)

- ⑨ 室内機側、室外機側ともに取り外してください。
- ⑩ 取り外した目隠しキャップは大切に保管してください。



### 4.呼び線の挿入

室外機側から呼び線を反対側から出てくるまで挿入します。(図2)



### 5.呼び線の先端に冷媒管・ユニット間配線用ケーブルを固定

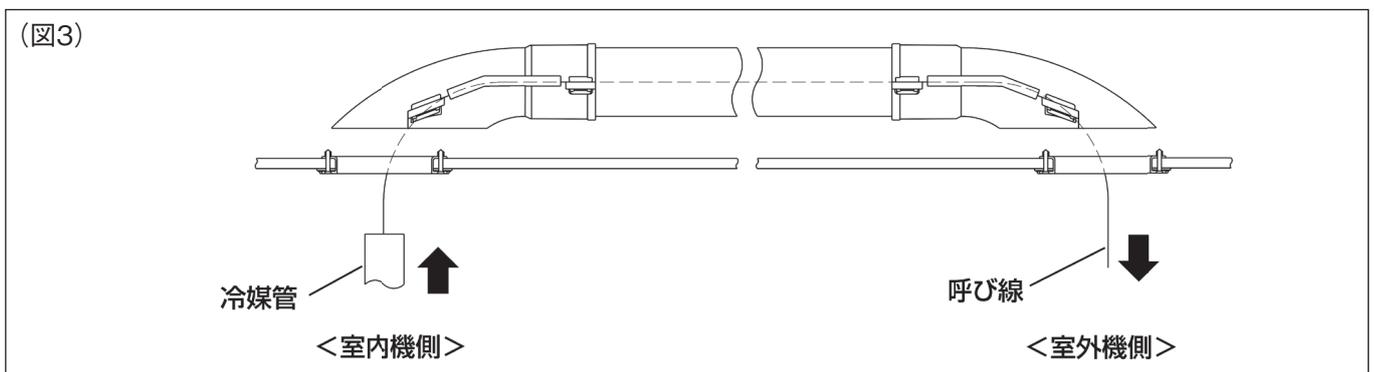
針金などを用いて呼び線の先端に冷媒管、ユニット間配線用ケーブルを外れないように固定してください。

- ⑪ 冷媒管の先端はテープなどで養生し、キズがつかないようにしてください。

### 6.冷媒管の挿入

室外機側から呼び線を引っ張り、室内機側からは押し込むようにして挿入してください。押し込み側は斜め方向に押し込んでください。(図3)

- ⑫ 冷媒管は巻癖を取りながら、できる限り真っ直ぐな状態で挿入してください。



### 7.冷媒管の室外機接続

室外機側の取り出し口から出てきた冷媒管を室外機に接続してください。

### 8.化粧カバーの取り付け

冷媒管と取り出し口とのすき間、および屋外側のエアコンキャップとのすき間はパテ埋めして密閉してください。

